



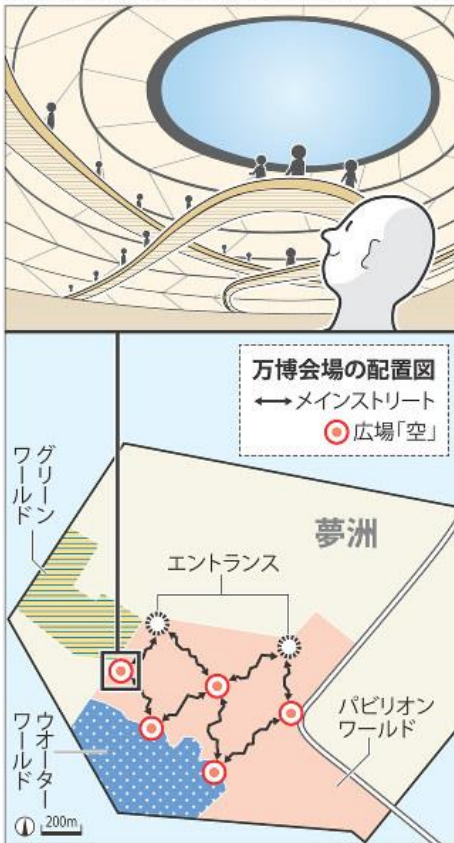
大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3786 号 2017.7.22 発行

大阪万博 「空」シンボル、禅の精神表現…会場構想案 毎日新聞 2017年7月21日

万博会場に設けられる広場「空」のイメージ図



大型広場、屋根見上げ

2025年国際博覧会(万博)の大阪誘致を巡り、人工島・夢洲(ゆめしま)(大阪市此花区)で計画する会場の具体的な構想が21日、判明した。複数の誘致関係者が毎日新聞の取材に明らかにした。シンボル施設として「空(くう)」と名付けた大型広場を5カ所に配置。広場を覆う大きな屋根の真ん中に穴を開け、空が見えるようにして「禅」の精神に通じる「空虚」を表現する。

9月に政府が博覧会国際事務局(BIE)に提出する招致提案書に盛り込む。

会場全体のコンセプトは「非中心」「離散」とした。テーマや地域別にパビリオンをまとめる従来の手法を変え、会場の敷地を不規則に区分けし、さまざまな形の施設を「パビリオンワールド」の区画にランダムに配置する。「いのち輝く未来社会のデザイン」の万博テーマを踏まえ、個々のパビリオンを世界中の多様な人々に見立て、一人一人が共に未来社会を創り上げるイメージを表現する。

「空」ではイベントや展示会場として来場者が交流、別の「空」や会場エントランス2カ所とはアーケードのような屋根をかけたメインストリートで結ぶ。

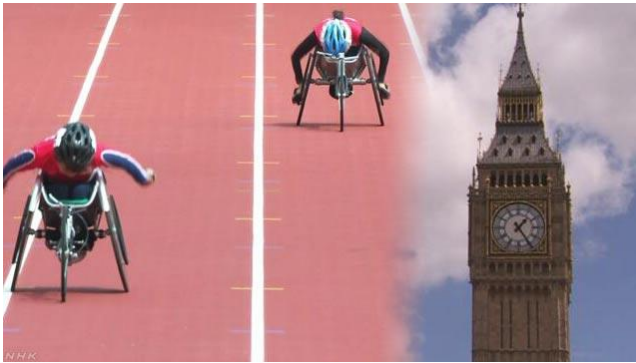
パビリオンの上に別のパビリオンを重ねて建設することも検討。上階のパビリオンへ移動しやすいよう、

空中を移動する歩行者用「スカイウォーク」を「空」やメインストリートの屋根の下に通す。会場全体を見渡せる「空中庭園」も設ける。

パビリオンは世界各国や企業、国際機関が出展し、未来のライフスタイルの紹介など体験型施設も用意する。世界の料理やお好み焼きなど大阪の味を提供する飲食・物販施設は計20カ所配置。海上に網目状の栈橋を設ける南側の「ウオーターワールド」は水上ホテルや迎賓館を整備し西側には緑地帯「グリーンワールド」も設ける。

会場内移動は自動運転のループバスや1人用小型乗り物(パーソナルモビリティ)も活用。拡張現実(AR)を利用した避難経路サインや自動のゴミ回収機も導入し、ドローンで会場を監視する対策も進める方針だ。入場料は当日券を大人4800円で検討し、障害者向けの特別割引も設けられる見通し。

ロンドン パラ陸上 東京は変わるか？



NHK ニュース 2017年7月21日
パラ陸上の世界選手権がロンドンで14日開幕しました。会場は2012年ロンドンオリンピック・パラリンピックの舞台となったスタジアムです。障害者スポーツが社会に根付いているイギリスで、3年後の東京パラリンピック成功に向けたヒントを探りました。(スポーツニュース部 竹中侑毅記者)

パラ陸上世界選手権は盛況

ロンドンで開かれているパラ陸上の世界選手権では、地元イギリスの選手が出場すると割れんばかりの大歓声が上がります。大会のチケットはインターネットを通じておよそ28万枚が売れ、スタジアムで話を聞くと、2012年ロンドン大会を契機にパラ陸上のファンになった人たちが多くいました。

家族連れで訪れた男性は「ロンドン大会からパラ陸上を継続的に見てい

る。選手たちの偉業を見て圧倒されている」と話していました。

障害者スポーツ発祥の地

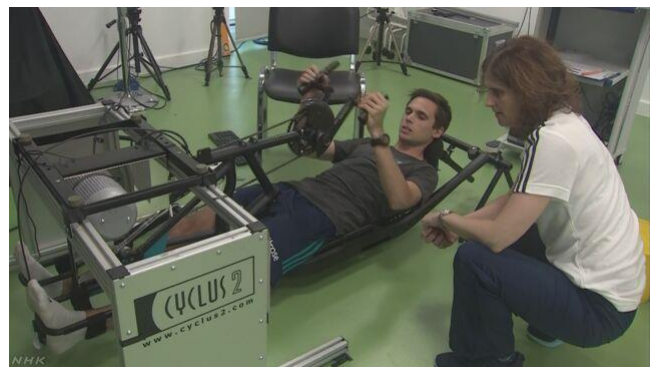
イギリスの障害者スポーツには歴史があります。イギリス南部の小さな街、ストーク・マンデビル。この街の病院で1948年に開かれた障害者スポーツ大会がのちにパラリンピックに発展したことから、パラリンピック発祥の地と言われています。のちに作られた競技場は、現在は、障害者スポーツの拠点となりました。ここでは、春から秋にかけて車いすの陸上大会が毎月1回行われています。

ロンドン大会をきっかけに始めた人も

この大会で、車いすの陸上選手、17歳のヤスミン・サマーズさんに出会いました。生まれつき脳性まひがあり、下半身が不自由です。もともと家に引きこもりがちだったサマーズさんは、弟のすすめでロンドン大会を見て競技を始めました。今では競技にのめり込み、ロンドン大会後にできた障害者の陸上クラブで週3回練習。以前よりも前向きになり、家族も喜んでいます。



母親のカレンさんは「本当に誇りに思う。私の期待をはるかに超えることができるようになった」と語り、サマーズさんも「スポーツにふれて自信がもてるようになった」と教えてくれました。



歴史あるクラブも分け隔てなく

ロンドン大会が変えたのは1人の人生だけではありません。1908年に設立された陸上のクラブではロンドン大会をきっかけに3年前から障害者と健常者がともに陸上を行えるように環境を整えました。倉庫には、公的機関から補助を受けて購入した8台の競技用車いすが置いてあり、障害のある人が競技を始めたければすぐに始めることができます。

16歳のケイリー・イングリッシュさんもこのクラブで競技を始めた1人です。健常者が練習するすぐ横で車いすでトラックを走っていて、大会に向けて日々腕を磨いています。こうした環境もあいまって、イギリスではロンドン大会をきっかけに22万人以上の障害者が週に1回以上スポーツを楽しむようになりました。

大学が競技力向上に取り組む

科学の力で競技力を向上させようという取り組みも進んでいます。障害者スポーツに特化したラフバラ大学の研究室では、この日、手で自転車をこぐ、ハンドサイクルを使って血液中の酸素濃度をはかるなど、データを収集していました。

研究室で学ぶ学生たちはいずれもロンドン大会に刺激を受け、障害者スポーツを支えることに意欲を示していました。博士課程の学生、マイク・ハッチンソンさんは「ロンドン大会で、障害者のアスリートと仕事をしておもしろいと思った。これからもパラリンピックに出るアスリートのために貢献できることをしていきたい」と話していました。

人々の意識が変わった

波及効果はスポーツだけに限りませんでした。ロンドン大会でボラン

ティアを務めたエミリー・イェーツさん。自身も車いすを使っています。現在は、バリアフリーについてアドバイスするコンサルタントになりました。

エミリーさんは施設の整備が進んだことよりも、障害者を受け入れる社会の意識がロン

ドン大会をきっかけに高まったと話します。その言葉どおり、エミリーさんが車いすで移動中に携帯電話を落としたり、地下鉄から降りるときに車いすの車輪が引っかかったりすると、すぐ、近くにいた人が助けてくれるシーンもありました。

エミリーさんは「人々が親切ですぐに助けてくれる。それが街を『インクルーシブ（障害のあるなしなど、さまざまな価値観を区別なく受け入れる状態）』にするし、使いやすく『アクセシブル』にする。人々が障害について知れば、東京の人はより心に壁を作らず、障害者に接することができると思う。障害者は特別な扱いは必要ない。必要なときに手伝ってもらえればそれでいい。これから東京はもっと『インクルージョン』（さまざまな価値観を受け入れる）なところになる」と話していました。



意識を変えられるか 東京大会

充実した障害者スポーツの環境は、「障害がある人を自然にサポートする」というイギリスの人々の意識に支えられています。日本でもこうした意識を高めていくことが3年後の東京パラリンピック成功への鍵となりそうだと感じました。

折り紙で恐竜 熱中...高機能自閉症・諸橋さん 金沢で作品展...21日から

読売新聞 2017年07月21日

自作の折り紙作品を紹介する諸橋さん（金沢市幸町で）

先天性の高機能自閉症を抱えながら、立体的な折り紙作品の制作に打ち込む金沢市寺町の諸橋友輝さん（19）の作品展「もし、現代に恐竜が生きていたら...」が21日、同市幸町のオマンジュウカフェSouanで始まる。約2か月かけて制作した恐竜の作品約150点が展示され、諸橋さんは「たくさんの人に見てもらいたい」と話している。

諸橋さんは、障害者の就労支援にあたる同カフェに通所しながら制作に取り組んでいる。母・直美さん（49）によると、諸橋さんは協調性を持って行動することは苦手だが、折り紙をしていると時間を忘れて熱中するという。

折り紙は3歳で始め、福井県立恐竜博物館（勝山市）や日本折紙博物館（加賀市）に連れていってもらったことをきっかけに、立体的な恐竜作品の制作に夢中になった。小学2年生の頃、同博物館主催のコンテストで入賞したこともある。

高さ約20センチの恐竜の制作は、制作本を参考に60センチ四方の色紙を折り、約1時間で完成する。工程が多い大作ほど厚くなるので紙の端をそろえて折るのが難しいが、諸橋さんは「簡単すぎるのはつまらない。大きな1枚の紙が形になるのが面白い」と話す。



直美さんは「熱中する姿を見られるのはうれしい。将来の進路を考えるきっかけになれば」と語った。

8月6日まで。月曜定休。午前11時半～午後8時。入場無料。問い合わせは、同カフェ（076・223・0201）へ。

障害者との共生を考える 相模原殺傷事件から1年 きょうから上演「ふうちゃんの結婚」 ／京都

毎日新聞 2017年7月21日

相模原市の障害者施設で、入所者19人が刺殺された事件から1年となるのを前に、京都市の劇団「シアターリミテ」（長谷川源太代表）は21～23日、障害者との共生社会を考える「ふうちゃんの結婚～燕（つばめ）のくる舎（いえ）」を上演する。

長谷川代表が脚本・演出を手がけ、4年前に上演した作品を再演する。

ICU、広がる面会自由化 時間や年齢…制限緩和 阿部彰芳、川村剛志

朝日新聞 2017年7月21日



時間制限なく面会できる耳原総合病院のICU＝堺市堺区

症状の重い患者を集中的に治療、管理する病院の集中治療室（ICU）。かつては当たり前だった、面会の時間や入室者の年齢の制限を緩める動きが広がっている。時間を気にせず顔を合わせることができ、患者・家族ともに心が落ち着くと好評だ。

■看護師ら「患者の支えに」

JR立川駅近くの立川相互病院（東京都立川市、291床）。ICUには6ベッドがある。面会に訪れる家族らの時間制限はない。

6月の平日の日中。高齢の男性患者の見舞いに、妻が訪れた。入り口のインターホンを押して名前を告げると、看護師がモニターで顔を確認。扉が開いて妻は夫の元へ向かった。初めて面会に来た人は、看護師が案内する。

以前は朝昼晩のいずれかに1回15分以内と限定していた。だが2010年に時間の制限をなくした。親族や友人も患者本人の希望があれば面会できる。3年前から、6歳以下の子どもも入れるようになった。

安全面への配慮もしている。「入退出時は、手指の消毒を」などと面会の注意点を書いた用紙を、入院時に家族に渡して説明。インフルエンザなどの流行時にはマスクの着用も求める。

13年12月に看護師や理学療法士らに実施したアンケートでは、「患者の心の支えになる」「家族と医療者の関係を築ける」など肯定的な回答が多く、42人中40人が継続を希望していた。

ICU看護師長の林英里香（えりか）さんは、以前は仕事を休んで来ていた家族が仕事の合間や行き帰りに訪れるケースが増えたと指摘。「家族は、ゆっくり治療の様子を見たり、看護師らに質問したりできる。患者、家族ともに心が落ち着くようです」と話す。



“虐待入院” 厚労相「病院に子ども放置 理解できない」

NHK ニュース 2017年7月21日

虐待を受けて入院し治療が終わったにもかかわらず、受け入れ先がないなどの理由で退

院できなかった子どもが去年までの2年間で350人余りいることについて、塩崎厚生労働大臣は「児童相談所がなぜ子どもを病院に放置するのか、理解できない」などと述べ、実態調査を行ったうえで対策を検討することを明らかにしました。

小児科医で作るグループが全国の医療機関を対象に行った調査で、去年までの2年間に虐待を受けて入院した子どものうち、治療が終わったにもかかわらず、親元に戻せず受け入れ先もないなどの理由で5日間以上退院できなかった子どもが、少なくとも356人いたことがわかりました。

これについて、塩崎厚生労働大臣は21日の閣議のあとの記者会見で「児童相談所がなぜこうした子どもを病院に放置するのか、理解できない。虐待の対応が増えて忙しいという話もあるが、子どもの発育によくないだけでなく、病院にも迷惑をかけている」と述べ、近く全国の児童相談所を対象に実態調査を行ったうえで対策を検討することを明らかにしました。

そのうえで、「子どもが健全に育つ権利を守るためにも、子どもにいちばんあった形での養育を実現したい」と述べ、施設への入所だけでなく、より家庭的な里親への委託や、特別養子縁組などの取り組みを進めていく考えを示しました。

経済財政白書 長時間労働を改め柔軟な働き方導入を NHK ニュース 2017年7月21日

政府は、今年度の経済財政白書で、「働き方改革」が経済に与える影響に焦点を当てて分析し、国際的には1人当たりの労働時間が短い国ほど生産性が高いとして、長時間労働を前提にした働き方を改め、時間や場所を自由に選択できる柔軟な働き方の導入を進めるべきだとしています。

今年度の白書では、1人当たりの労働時間と労働生産性の関係をOECD諸国のデータを使って分析しました。

それによりますと、ドイツの年間の総労働時間は、日本のおよそ8割の1300時間だったにもかかわらず、1人当たりの労働生産性は日本の水準を50%近く上回っているとしています。また、単純計算で1人当たりの労働時間が10%短くなると、1時間当たりの労働生産性は25%高まるとしています。

また、内閣府が日本の企業を対象に行ったアンケート調査などからも、長時間労働の是正や「テレワーク」の導入など、柔軟な働き方に取り組む企業のほうが生産性が高いという結果が確認できたとしています。

こうしたことから、白書では、長時間労働を前提とした働き方を見直し、時間や場所を自由に選択できる柔軟な働き方の導入を進めるとともに、福祉や運輸など特に人手不足が深刻な業種ではロボットやAI＝人工知能など省力化のための投資を積極的に行う必要があるとしています。

経済再生相「働き方改革と生産性向上を」

経済財政白書について、石原経済再生担当大臣は閣議の後の記者会見で、「働き方改革によって女性の就業を増やし、潜在成長力の向上、強化と、消費の底上げを図っていかねばならない。また、生産性の向上には規制改革とイノベーションも重要だ」と述べ、働き方改革と生産性の向上を進めていく考えを示しました。

健保組合4分の1、解散危機 2025年までに 水戸部六美

朝日新聞 2017年7月21日

大企業の会社員らが加入する健康保険組合の4分の1が、2025年までに解散の危機に追い込まれるという試算を健保組合の連合会がまとめた。高齢者向け医療費の「支援金」が増え、財政が悪化するためだ。連合会は今後、支援金の軽減や医療費の抑制策を政府に提言する方針だ。健保組合は全国に約1400あり、加入者は約2900万人。保険料は

企業と従業員が原則、折半する。積立金を保険料にあてない前提で試算すると、加入者の収入に対する保険料の平均は15年度の9・1%から25年度には11・8%に上昇。中小企業の会社員らが入る協会けんぽは25年度で12・5%になる一方、380の健保組合はそれ以上になる。保険料率が協会けんぽより高いと独自の健保組合を運営するメリットは小さく、解散に陥りやすい。

認知症予防の食事術 3食バランス良く、楽しく

産経新聞 2017年7月21日



今日の食事は何を、誰と食べますか？ 高齢社会になって年々増加する認知症患者。認知症の発症率は、食事の内容によって差があることが、明らかになってきている。また、近年の研究では、誰とどのように食べるかも重要という調査結果がある。

低栄養の目安

- BMI18.5未満
- 6カ月で2~3kgの体重減少がある
- 血清アルブミン値3.5g/dl以下など

出典：一般財団法人 日本食生活協会「高齢期の食生活」

認知症と食事の研究を続ける

る医師、東京大大学院准教授の小川純人さん（老年病学）に認知症予防の食事術について聞いた。（村島有紀）

低栄養を防ぐ

平成24年の認知症患者数は推計462万人で、高齢者の7人に1人（有病率15%）。しかし、内閣府によると、37年には約700万人となり、高齢者の5人に1

人が認知症患者になると見込まれている。「近年の研究により、低栄養が、認知機能の低下をもたらす可能性が示されている。暑さで食欲が落ちる夏場は特に気を付けてほしい」と小川准教授は警鐘を鳴らす。

低栄養とは、人間が生命を維持し、日常生活を営むために必要なカロリーとタンパク質が不足している状態。抵抗力が低下し、風邪から肺炎を起こしやすくなるなど軽い病気でも回復に時間がかかる。高齢者に多い原因としては、食欲の低下、嚥下（えんげ）や咀嚼（そしゃく）力の低下、買い物や料理がおっくうになる気力の低下など。2005年発表のフランスのアルツハイマー病の高齢患者を対象にした疫学研究では、低栄養の高齢者は、1年後の段階で認知機能の低下などが認められている。

70歳以上の高齢者に1日に必要なエネルギーは、活動量によって差があるが、男性が1850~2500キロカロリー、女性が1500~2000キロカロリー。低栄養の目安は、半年で体重が2~3キロ、または1年で4~6キロ減少▽BMI18・5未満▽血清アルブミン値3・5グラム/デシリットル以下など。BMIの計算方法は体重（キロ）÷（割る）身長（メートル）÷（割る）身長（メートル）で算出する。高齢で、特にやせている人は注意が必要だ。

「夏によく食べるそうめんやそばなどの麺類は、炭水化物が主体で栄養素が偏りがち。朝、昼、夜の3食、タンパク質やビタミンなどをバランス良く食べることが、予防につながる可能性がある」と小川准教授は話す。

主菜と副菜を増やす

では、バランスのよい食事とはどのような内容だろうか？ 九州大が昭和36年から福

認知症の予防に効果的な食品の一例

EPA・DHA	アジ、イワシ、サバ、サンマ、マグロ、ハマチなど	
ビタミンC	アセロラ、レモン、イチゴ、グレープフルーツ、レバー、ジャガイモ、サツマイモ、レンコンなど	
ビタミンE	アボカド、カボチャ、玄米、サツマイモ、春菊、タケノコ、ニラ、ピーナツ、ホウレンソウ、サバ、サンマなど	
βカロテン	青ネギ、アスパラガス、オクラ、カボチャ、小松菜、シシトウガラシ、春菊、ピーマン、ホウレンソウ、トマトなど	

出典：一般財団法人 日本食生活協会「高齢期の食生活」

岡山久山町の住民を対象にした疫学研究「久山町研究」では、大豆（大豆製品）、野菜、海藻類、牛乳（乳製品）、果物（果物ジュース）、イモ類、魚を増やし、米と酒類を減らす生活のパターンをしていた人の認知症の発症率は、そうでない人たちに比べ、34%低下した。

個別の食品や栄養素で、認知症予防に効果的と考えられているのは、青魚に多く含まれる不飽和脂肪酸「EPA」や「DHA」、野菜や果物などに多く含まれ抗酸化作用のある「ビタミンC」「ビタミンE」、ホウレンソウに多い「β（ベータ）カロテン」など。

小川准教授は「ご飯の量を減らして相対的に、主菜や副菜を多くすれば、結果的に食事のバランスが良くなる。食欲がないときは1食を数回に分けたり、おかずを優先したり、おやつに果物や乳製品を食べたりする工夫を」とアドバイス。また、血液を増やす作用のあるタンパク質を含んだ牛乳は熱中症予防にもなり、暑い時期にはお薦めだ。

誰かと一緒に

小川准教授が重要視するのが「誰と食べるか」という食事の環境だ。スウェーデンの研究では社会的な接触の多い人は、少ない人と比べて認知症になりにくいという調査結果がある。「孤食は、鬱とも関係する可能性がある。男性の場合、1人暮らしで、1人で食事をしていると、3年後に鬱になるリスクはそうでない人の2・7倍という調査結果もある。孤食ではなく、おしゃべりしながら楽しく食べる『共食』が大事」と話している。

社説:九州豪雨 「被災者のケア」を息長く 西日本新聞 2017年07月21日

福岡、大分両県を襲った豪雨の被災地では今週、なお一部で避難指示と解除が繰り返されるなど異常な気象状況が続いた。

九州北部はきのう梅雨明けしたが、今後は台風への備えも必要だ。土砂と流倒木に引き裂かれた大地の傷痕は今も生々しい。引き続き厳重な警戒を続けたい。

避難者は約700人に上る。当面する最重要課題の一つは、避難生活の長期化に伴うストレスや疲労に起因する災害関連死を全力で予防することだ。

災害関連死は災害による直接の被害でなく、避難後に死亡した人の死因に災害との因果関係が認められたものを指す。たとえ災害が終息しても長く続く深刻な「二次被害」である。東日本大震災の関連死は3500人を超え、なお増えている。昨年の熊本地震では直接死が50人だったのに対し、関連死は今月までに180人を上回った。

犠牲者の大半が高齢者だ。過去の認定例では処方薬を飲めなかったことによる持病の悪化や復旧作業中の過労による場合がある。一方で、将来を悲観した自殺や孤独死など周囲の強い支えがあれば防げたかもしれないケースもある。

地震による関連死では、本震後も続く揺れが心身に深いダメージを与える。同様に今回特に注意すべきは、集中豪雨への警戒が長引いた上、今後も風雨に神経をとがらせなければならぬことだ。長期的な医療体制の確立とともに、心のケアは欠かせない。過去の経験や教訓を生かして、あらゆる手だてを尽くしてほしい。

被災者のニーズをきめ細かく把握し、避難生活の質を少しでも改善することが、予防の土台となる。障害者や妊婦、乳幼児も含め、ケアが必要な被災者への目配りを一層心掛けてもらいたい。

避難が長期化すればストレスに加え、生活再建への不安も高じてくる。建設が始まった仮設住宅の完成までには1カ月はかかるという。民間賃貸住宅を借り上げる「みなし仮設」の活用や就労支援など生活再建の援助も強めたい。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

